

アイダホ州：小麦作柄と気象状況

2003年9月9日（最終）

2003年9月7日現在：

この1週間の平均気温は平年を上回り、北部地区では最高気温 100 度 F を記録した。降雨は全州で殆ど記録されなかった。

春小麦の収穫も例年より早く進み、北部地区で 98%にて完了した。南西部では 100%の完了となった。

2003 年産ソフト小麦の品質は、7 月からの高温・乾燥気象の影響を受け春小麦にて、低容積重、高蛋白質の傾向となった。冬・春ソフト小麦の平均値としては、略平年並みの品位であり、蛋白質は平均 9.8%（水分 12%ベース）、容積重は 59.1 lb/bu、Dockage 0.5%とのサーベアーの結果がある。

2004 年産冬小麦の播種が南西地区で開始された。略平年並みの播種開始である。

8 月 1 日付け USDA の冬小麦生産量予想では別表の通り。冬小麦の単位収量は 7 月 1 日予想と変わらず 82.0 bushels/acreであったが、春小麦の単位収量は 3bu/a 落ち 63.0bu/acre となった。高温・乾燥が単収を落とす結果となった。

Topsoil 土壌水分：

Topsoil	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	30	46	24	0
Last week (%)	33	43	24	0

灌漑用水：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Water supply (%)	16	20	39	24	1

小麦進捗状況：9月7日現在

	North			S. W.			S. Cent.			State		
	9/7	A	Ave	9/7	A	Ave	9/7	A	Ave	9/7	A	Ave
Spring Wheat Harvested (%)	98	85	84	100	100	96	100	98	97	94	91	87
Winter Wheat Planted (%)	0	0	1	4	6	2	0	9	5	3	4	4

A:2002年同期。 Ave:5年平均

Source：Idaho Agricultural Statistics Service

8月1日付け農務省発表小麦生産量予想：

	Area Harvested 1000 Acres		Yield Bushels/Acre			Production 1000 Bushels	
	2002	2003	2002	2003		2002	2003
				July 1	Aug 1		
Winter	690	720	79.0	82.0	82.0	54,510	59,040
Spring	510	460	65.0	66.0	63.0	33,150	28,980

当該作柄レポートへのご質問は下記宛てにお願い致します。

小川正晃：E-mail ogawa.max@omicnet.com